

身分上の事項に関する証明（21号）

＜婚姻要件具備証明＞

内 容	本人が独身であり、かつ、日本国の法令上婚姻の要件を満たしていることを証明するもの（注1）。
使 用 目 的	主に日本人と外国人との婚姻の際に現地官憲当局から求められる。
条 件	(1) 本人が公館へ出頭して申請すること（注2）。 (2) 本人が独身であること、日本の法令上婚姻可能な年齢に達していること、及び再婚禁止期間を経過していることを立証できること。 (3) 日本人に限る。
必 要 書 類	(1) 本人を確認できる公文書（例えば、旅券、現地当局発行の写真付身分証明書） (2) 戸籍謄（抄）本（発給の日より3か月以内の可能な限り新しいもの）
形 式	外国文による証明
注 意 事 項	(注1) 日本の法令上の婚姻要件（民法第731条～737条）のうち、提出された戸籍謄（抄）本の記載に基づいて、申請人が独身であること、日本の法令上婚姻可能な年齢であること、及び再婚禁止期間を経過していること（民法第731条～第733条）を確認し証明する。 (注2) 本人が公館へ出頭できないやむを得ない事情があると認められるときは、代理人を通じて申請できる。ただし、代理申請依頼状（書簡でも可）又は委任状を提出させること。婚姻相手の外国人の氏名を記載する場合は、代理申請は不可。

身分上の事項に関する証明

＜婚姻要件具備証明＞

1. 概 説

(1) 証明の内容

日本人が独身であること、かつ、日本国の法令上婚姻の要件を満たしていることを証明するもの（形式1）と、婚姻相手の氏名を記載してわが国法令上その者と婚姻することに何等支障がないことを証明するもの（形式2）とがある。すべて外国関係機関あてで、外国文で発給する。

(2) 使用目的

日本人が外国で外国の方式により婚姻する際に使用される。

(3) 手数料

証明書1通毎に第21号の領事手数料を徴収。

(4) 日本の法令上の婚姻要件（民法第731条～第737条）のうち、提出された戸籍謄（抄）本の記載に基づいて、申請人が独身であること、日本の法令上婚姻可能な年齢であること、及び再婚禁止期間を経過していること（民法第731条～第733条）を確認し証明する。（民法の仮英訳文については後頁参照）。

(5) 同性婚を目的とした申請については本省経伺。

2. 発 給 条 件

(1) 本人が公館に出頭して申請すること。

（注1）本人が公館に出頭できないやむを得ない事情があると認められたときは、代理人を通じて申請できる。ただし、代理申請依頼状（書簡でも可）又は委任状を提出させる。

（注2）形式2による場合は代理申請は認めない。（本邦の法務局で発行する際も、代理申請は一切認めていないので、右にならっている。）

(2) 戸籍謄（抄）本により本人が独身であること、日本の法令上婚姻可能な年齢（男満18才、女満16才）に達していること、及び女性については再婚禁止期間（100日）を経過していることを立証できること。なお、前夫との再婚の場合は再婚禁止期間を経過しなくてもよいが、形式2に限る。

(3) 形式2による場合、必要書類がそろっている時は必ずしも当事者双方の出頭を要しない。

3. 必 要 書 類

（注）文書については、すべて原本の提出又は原本の提示及び写の提出を受ける（公館において写を作成してもよい）

(1) 本人を確認できる公文書（例えば、旅券、現地関係当局発行の写真付身分証明書），

形式2による場合は婚姻相手を確認できる公文書（旅券等）

- (2) 戸籍謄（抄）本（発行の日より3か月以内の可能な限り新しいもの）

※転籍等により、提出された戸籍謄（抄）本（全部（個人）事項証明）で再婚禁止期間の経過が確認できない場合は、それ以前の戸籍謄（抄）本も提出させた上で確認する。

- (3) 代理申請の場合、代理申請依頼状（書簡でも可）又は委任状

4. 作成要領

- (1) 申請人に証明書の使用目的及び提出先等を記入した申請書を提出させ、形式1によるか形式2によるかを決める。

- (2) 必要書類を提出させる。

- (3) 申請人が本人であるか否かを旅券等の公文書で確認する。代理申請の場合は、申請人が依頼状又は委任状に記載されている本人であるか否かを旅券等の公文書で確認する。

- (4) 戸籍謄（抄）本から証明書形式1に必要事項を記入する。形式2による場合は、戸籍謄（抄）本から必要事項を記載すると共に婚姻相手について確認できる公文書（旅券等）から婚姻相手の氏名、生年月日、性別、国籍を記入する。

(注1) 記載上の注意

Domicile（本籍地）：都道府県又は市までとし、その後に「Japan」と記載する。

現地機関から離婚についても併せ記載して証明するよう求められた場合は、戸籍謄（抄）本で確認の上、証明文の下段に離婚の年月日を記載する。

(注2) 現地関係当局から日本人の婚姻要件（能力）等につきわが国の法規に関し照会越す場合は、証明として取り扱わず、わが国の法規について説明した「領事の書簡」を発給することにより処理する（下記仮訳文例参照）。

- (5) 証明書の下段に根拠とした文書名、発給者、発給年月日を記入する。

- (6) 証明書にその他の必要事項（証明番号は証明書発給台帳にて確認）を記入の上、公館長又は担当官（代理署名の指定を受け本省に報告済みの者）が署名し、その下に官職氏名を記入して、丸型館印を押す（青又は黒のスタンプインキ使用）。

- (7) 完成した証明書の写をとる。

- (8) 証明手数料は1通毎に第21号の手数料を徴収する。領収書は取りまとめて1枚を発給すればよい。

- (9) 証明書発給台帳、申請書の在外公館記入欄に必要事項を記入する。

- (10) 申請書、証明書の写及び根拠文書（写）は公館にて保存する。保存期間3年。

（参考 民法仮訳文）

(Provisional Translation)

THE CIVIL CODE OF JAPAN

Article 731. A man may not marry until the completion of his full eighteen years of age, nor a woman until the completion of her full sixteen years of age.

Article 732. A person who has a spouse may not contract an additional marriage.

Article 733. A woman may not re-marry unless six months have elapsed from the day of the dissolution or annulment of her previous marriage.

In case a woman is pregnant from before the dissolution or annulment of her previous marriage, the preceding paragraph shall cease to apply as from the day of her delivery.

Article 734. No marriage may be contracted between lineal relatives by blood, nor between collateral relatives by blood up to the third degree of relationship, except between an adopted child and any of the collateral relatives by blood on the side of the adoptive relatives.

Article 735. No marriage may be contracted between lineal relatives by affinity.

The same shall apply after the relationship by affinity has ceased in accordance with the provisions of Art. 728.

Article 736. No marriage may be contracted between an adopted child, his or her spouse, his or her lineal descendants or their spouses on the one hand, and the parent by adoption or his or her lineal ascendants on the other even after the relationship has ceased in accordance with the provisions of Art. 729.

Article 737. A minor child must obtain the consent both of his or her father and mother in order to marry.

If either the father or mother does not give the consent, the consent of the other parent only shall be sufficient.

The same shall also apply, if either the father or mother is unknown, or is dead or is unable to declare his or her intention.

(仮語) 婚姻要件具備証明 形式 1

CERTIFICAT

NOM

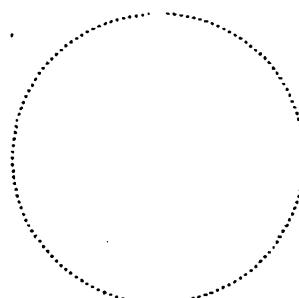
PRENOMS :

DATE DE NAISSANCE :

DOMICILE LEGAL :

PASSEPORT : N°

L'Ambassade du Japon en France certifie que la personne mentionnée ci-dessus n'est pas mariée et qu'elle remplit les conditions de base déterminées par la législation japonaise.



Paris, le 20.....

(Nom et Prénom)

(Titre)

Ce certificat est établi sur la base d'une copie authentique du Registre d'Etat-Civil du titulaire délivrée le 20..... par le Maire de (Prefecture, Japon).

(Frais : €)

(西語) 婚姻要件具備証明 形式 1

Cert No.

CERTIFICADO DE CAPACIDAD MATRIMONIAL

Apellidos :

Nombre :

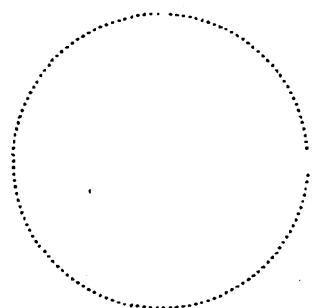
Fecha de nacimiento :

Domicilio permanente :

Nº de Pasaporte :

Según la copia certificada del Registro Oficial de la Familia, expedida con fecha de de 20...., por el(la) Alcalde(sa) de la ciudad de, provincia de....., Japón, la Embajada del Japón en España certifica que la persona arriba mencionada conserva actualmente su estado civil de soltera(o), y cumple con los requisitos necesarios para casarse bajo las leyes vigentes del Japón.

Y para que conste, a fin de que así pueda acreditarlo la interesada(o), se expide el presente certificado en Madrid, a de de dos mil



.....
Cónsul

(Derechos:€)

形式 1

Cert. No.

CERTIFICATE

Surname :

Given name :

Date of Birth :

Domicile :

Passport Number :

On the basis of a certified copy of the above-named person's family register issued by the
Mayor of.....City,Prefecture, on....., 20....., this is to certify that he (or she) is
unmarried and satisfies the requisites for marriage under the relevant laws of Japan.

(Place)

(Date)

(Fee :)

形式 2

Cert. No.

CERTIFICATE

Surname :

Given name :

Date of Birth :

Domicile :

Place of birth :

Father :

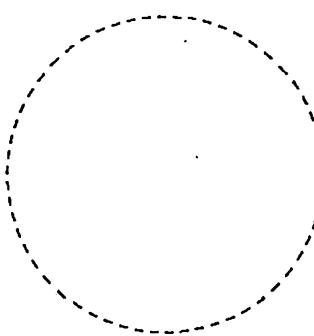
Mother :

Relationship to the parents :

This is to certify, on the basis of a certified copy of the above-named person's family register issued by the Mayor of City, Prefecture, on, 20....., that he (or she) is unmarried, satisfies the requisites for marriage and has no impediment to marriage to (氏名), (性別) male (or female), (生年月日) DOB, 19....., (国名) national (or citizen), under the relevant laws of Japan.

(Place)

(Date)



(Fee :)